

学 位 論 文 要 旨	
氏 名	トラン・クック・ナン
題 目	ベトナムメコンデルタにおける米生産への契約農業と農家規模の効果に関する経済研究 (Economic Study of the Contract Farming and Effects of Farm Size on Rice Production in the Mekong Delta, Vietnam)
<p>ベトナムは 1989 年以前には米の純輸入国であったが、最近では世界有数の米輸出国の一つになっている。メコンデルタはこの偉大な成果に著しく貢献し、全国における米耕作面積の約 55%、米の生産量と輸出量のそれぞれ 56%以上と 90%以上を占めている。しかし、メコンデルタ米農家の大多数 (65%) は比較的小規模な水田面積 (1ha 以下) を所有している。小規模で垂直調整が不足しているため、米農家の 90%以上が収穫直後に農家庭先で仲買人に販売している。この問題は、農家に対する不安定な収入と無数の個別農家によって提供される米の不安定な品質を生み出している。この問題を解決するためのベトナム政府の主要な対策の一つとして、農業、特に米部門での契約農業が 2002 年以降推進されている。しかしながら、(1) 小規模な農場を有する農家は米耕作から生計を立てることができるのか、(2) 契約農業はメコンデルタの稲作農家に高い収益性をもたらすことができるのか、(3) 農家の米契約農業の導入にはどのような要因が影響するのか、という三つの根本的な疑問が提起される。</p> <p>そこで本論文では (1) 農家規模別の稲作収益性の成果の検証 (2) 稲作契約農業の現状と履行制約の把握 (3) 稲作農家の契約農業の導入に影響を及ぼす動機付け要因とその収益性の解明をする。データ収集のための農家世帯調査は、メコンデルタで 2015 年 9 月から 2017 年 9 月まで実施された。主な三つの結果は次の通りである。</p> <p>第一の発見は、小規模 (1ha までの稲作)、中規模 (1~3ha)、大規模 (3ha 以上の稲作) の三グループにおける生産は利益をもたらすが、小規模農家は稲作による利益を上げていても長期的に生計を立てつつ稲作を維持管理することは難しいかもしれないということである。一方、中規模と大規模はより多くの米所得を得ており、稲作を維持することが可能である。</p> <p>第二に結果は、メコンデルタでは米契約農業の強力な履行が失敗する可能性が高いことを示している。粳価格への不同意、粳品質の測定への不信、収穫時における契約企業の収穫能力の低さと膨大な収穫量による不均衡、という契約履行上の三つの大きな制約が明らかになった。契約書や企業と農家間の直接契約の利用は契約履行にプラスの効果をもたらし、契約農家への先行投資は契約履行を強化する可能性がある。</p> <p>最後の解明点は、契約のための三つの動機 (農家はより良い販売先へのアクセスを望み、支援による便益を得たいと考えており、生産の向上を期待している) である。契約農業は、販売価格・費用マージンと販売価格の点でメコンデルタにおける稲作の収益性にプラスの影響を与える。</p>	